

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成28年度 理事・研究班合同会議開催される

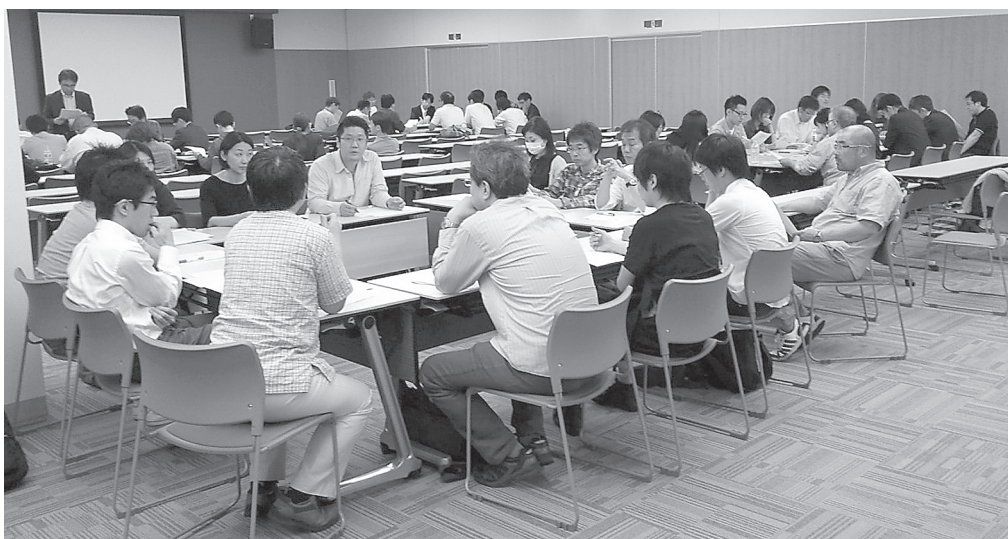
平成28年度理事・研究班合同会議が、平成28年5月14日(土)午後3時より、自治医科大学附属さいたま医療センターにおいて開催された。この会議は部門別検査研究班員の改選に伴い2年に1回行われている。各研究班は班長、副班長、会計、生涯教育、ホームページ、書記などの班員で構成されており、各々の役割分担で会務を遂行している。今回は理事、事務員、生涯教育委員、それぞれの研究班から班長、会計、生涯教育、ホームページ担当と精度管理委員が召集され、研究班運営マニュアルに沿ってそれぞれの会務の確認が行われた。

会議は武関理事の進行により始まり、津田会長、山口学術部長の挨拶の後、第45回埼玉県医学検査学会の猪浦実行委員長と石橋学術部長より研究班に協力の要請があった。次に日臨技担当の岡田副会長より日臨技関連事項についての報告があり、会員の生涯教育の履修率を上げるような研修プログラムの工夫をするように依頼があった。奈良総務部長からは埼臨技だよりの発行までの工程と生涯教育研修活動報告書の提出期限を守るよう説明があった。

その後、班長、精度管理、会計、生涯教育、ホームページの各担当に分かれて約1時間、真剣な話し合いが行われた。

最後に、津田会長から熊本地震の募金活動に対する協力依頼と日臨技の宮島会長が今年の参議院選挙への挑戦を検討している、という話があった。

(文責：武関雄二)



平成27年度公衆衛生功労者厚生労働大臣表彰・ 日本公衆衛生事業功労者表彰を受賞して



日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所
島村 益 広

去る平成28年3月8日大手町産経プラザにおきまして、平成27年度公衆衛生功労者厚生労働大臣表彰の栄に浴してまいりました。まずは、ご推薦を頂きました津田会長、神山、岡田両副会長ならびに埼玉県臨床検査技師会理事各位に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

この度の受賞は、多年にわたる埼臨技理事としての活動が、公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が特に顕著であると認められたものですが、これは、決して私自身の力では無く、故 須永隆雄氏、工藤正十三名誉会員、小崎繁昭名誉会員ら歴代の会長をはじめ技師会活動で交流のありました多くの諸先輩方の暖かいご指導、ご鞭撻ならびに会員各位のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

この賞は、県内で日々活躍する検査技師を代表して頂いたものと肝に銘じて努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



埼玉県立がんセンター
岩田 敏 弘

この度、平成27年度日本公衆衛生事業功労者表彰（日本公衆衛生協会会長表彰）を受賞しましたこと、埼玉県臨床検査技師会会員の皆様ならびに関係各位にご報告申し上げますとともに、合わせて御礼申し上げます。

当表彰には厚生大臣表彰と日本公衆衛生協会会長表彰があります。推薦団体である埼玉県臨床検査技師会では、会長・副会長など会の長として貢献があったものを前者、その他の事業功労者（私はこれにあたるそうです）を後者に推薦しているようです。対象職種が多彩（13種類くらい）で医師や保健師・看護師などの推薦団体が多いことから、これまでのところ4～5年に1回程度の受賞実績だそうですが、今回、厚生労働大臣表彰に島村益広副会長、協会会長表彰に私とダブルでの受賞となりました。

受賞理由には「尿・便検査の標準化、精度管理の確立に多大なる実績を残すと同時に、関係各機関との連携により、地域医療における臨床検査の普及と改善に寄与した。また臨床検査技師の指導育成によって分野の発展に多大なる功績を残した」とあります。

確かに記録をたどりますと、平成元年から始まった埼玉県医師会精度管理事業（黄色い本と言えればわかると思います）の第1回目から今にいたるまで27年間ずっと関わり続け、この事業を軸にした発表や論文は共同研究を含めけっこうな数になりました。20年近く前になりますが、当センター岡田茂治さんの擬似便を用いた便潜血精度管理論文や、山浦久一般検査研究班長（当時）の数年のサーベイ結果から尿定性試験紙の特性を解析した論文は、日本医学検査学会精度管理賞を受賞しましたし、その時に用いた尿定性試験紙の判定法である「切り上げ・切り下げ・近似値法」という言葉はいまだに一般的に使われています。

実をいうとこういった賞にはあまり興味がなかったのと、取りそろえる資料があまりにも面倒くさいので、「県立病院勤務の自分がもらうような賞ではない」と訳のわからない言い訳をして何度かお断り申し上げたのですが、「ここであなたが道を開かなければ後進が続けない。後進の活躍を願い、常に願って陣頭指揮にあたっているあなたらしくない」とまで言われ、最後はその後進に泣きついて実績の取りまとめをしていただきました。

だらしのない話で申し訳ありませんが、皆がいなければいただけなかった賞ですし、ただただ地味に長い間やってきたことに対して、再度日の目を見させて下さった技師会理事の面々や今回の表彰にご尽力いただいた埼玉県職員検査技師会及び医療整備課の方々には重ねて感謝したいと思います。

さて最後に「公衆衛生」と言う言葉は広義に捉えれば「予防医学」「地域医療」「保健発達」も包括します。もちろん「医療教育」「感染制御」「チーム医療」もその枠組みの一部を構成しています。多くの臨床検査技師が引き続き、この表彰をいただけることを祈念して、御礼の言葉とさせていただきますとともに、これからもご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



埼臨技 新入会員向け研修会のお知らせ

7月7日七夕の日に「埼臨技 新入会員向け研修会」を開催します。この研修会は、新たに埼玉県臨床検査技師会（以下、埼臨技）ならびに日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技）の会員となった方に、会員として必要な知識や情報を伝達して、今後、より積極的な関わりを持って技師会活動や学会発表などの研究活動を行って頂くこと、および未入会の方に、埼臨技と日臨技の体制、仕組みを知って頂き、新規の入会者を増やすことを目的に開催する研修会で、埼玉県での開催は今年で2回目となります。

研修会は2部構成となっており、前半部分は津田埼臨技会長と岡田日臨技理事に埼臨技、日臨技それぞれの技師会の特色についてご講演いただき、後半部分は昨年の研修会で好評だった「日当直検査で知っておくべきポイント」として、検体の取り扱い方や検査データの見方を山口学術部長よりご講演いただきます。日当直検査が始まったばかりあるいはこれから始まる新人技師や若手技師の皆様にはとても参考になると思います。

当研修会は日臨技の助成で行いますので、普段の研修会と異なり参加費の徴収は行いません。研修会のタイトルは新入会員向け研修会となっており「今年度入会した会員」もしくは「現在、技師会への入会を考えている非会員」が対象になっていますが、それ以外の一般の会員の方の参加も可能です。また賛助会員の“新人さん”の参加も大歓迎です。先輩が施設の新人さんを連れて研修会デビューさせるもよし、新人さん同士で声を掛け合って参加するのもOKです。奮ってご参加ください。

最後に“織姫と彦星”ではありませんが、新人の皆様がこの七夕の日の研修会との“出会い”をきっかけに技師会での活躍されることを祈念して研修会の案内を終わります。

開催日時；平成28年7月7日 19：00～21：00

開催場所；大宮ソニックシティ602号室

(事業部長：濱本 隆明)



第45回 埼玉県医学検査学会情報



— 未来の私達のために —

会計部部长 津畑 宏明
巨樹の会 新久喜総合病院

皆様初めまして！第45回埼玉県医学検査学会の会計部長を務めることになりました新久喜総合病院の津畑（ツバタ）です。私は学会の実行委員を務めるのは今回が初めてで不安ばかりですが、ベテランの方々が多参加されていますので、学びながら頑張ります。

会計部の役割は会場費、講師依頼費、また物品などの出金管理、協賛企業様からの入金、当日の参加費などの入金管理を行います。今までこういった会計に関する事に携わる機会がなかった私ですが、皆様からお預かりしたお金で学会の運営をしていきますので1円もずれる事のないように頑張ります。

最初にも述べたように実行委員を務めるのは初めてですが、私が考えていた以上に全実行委員の学会にかける熱意をととても感じています。例えば学会を成功させるために例年よりも早めに始動し、学会テーマ、企画、演題の提出方法などを考えています。早めに始動した甲斐があり順調に準備が進んでいます。今学会のテーマは「挑戦」ですが、今までに聞く機会がなかったような講演や企画なども準備しており、私たち実行委員も様々な事に挑戦しています。

学会企画の中で私が個人的に期待している講演があります。現代の検査技師は病院の検査室だけではなく外来採血、病棟採血、検体採取、内視鏡の補助など様々なことができるようになりました。今学会でD-MATの隊員として活躍されている方が講演をしてください。私は災害現場で活躍している臨床検査技師がいることを知りませんでした。4月に起きました熊本地震にも派遣され活躍されたそうですので、今学会の講演を期待しております。若手の方から管理職の方までが一日を有意義に過ごしていただけるように準備しておりますので、12月4日は是非大宮ソニックシティへお越しください。

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 感染症検査について学びましょう

主催 血清検査研究班

実施日時：平成28年 3 月11日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科－20点

講 演 1：感染症検査の注意点を考察する

講 師：齊藤 雅一（埼玉医科大学病院）

講 演 2：HIVの基礎知識から最新の知見まで

講 師：原 敬志（シスメックス株式会社）

参加人数：会員43名 賛助会員 1 名

出席した研究班班員：齊藤雅一 庄司和春 大島まり子 鈴木淳子 持田和紀 相坂由里子

研修内容・感想など

今回は感染症をテーマに日常業務で忘れてはならない基本から、最新の学術的な話題を含めた幅広い2演題であった。

講演1では齊藤技師による感染症検査の注意点、特にHBs抗原検査について講演していただいた。HBs抗原は感染の有無をみるスクリーニングから治療効果の判定、予後予測まで用途が広く、測定には高感度・定量化が求められている。試薬の高感度化が進むとともに、我々が注意を払わねばならないのが偽陽性の問題である。マイクロフィブリン等の影響による偽陽性、また本来陰性の血清に他のHBs抗原強陽性血清がほんの僅か飛散することで陽性化してしまう場合もある。そのため初回HBs抗原陽性では、検体の性状をよく確認し、HBs抗原のみならずHBs抗体を測定する必要がある。コンタミネーションが疑われる場合、HBs抗原は陽性化するがHBs抗体は陰性のままである。

講演2ではシスメックスの原氏にHIVについて講演していただいた。世界の新規HIV感染者は1997年をピークに減少傾向をみせる一方、日本国内では横ばいである。HIVスクリーニング検査は感染者の見落としを防ぐため感度が99%を超えるが、同時に偽陽性も生じやすい。例として妊娠、膠原病、血液腫瘍、ワクチン接種による偽陽性が知られている。当日質問させていただいたワクチンに関しては後日ご回答頂き、インフルエンザワクチン接種による影響が報告されているとの事であった。HIVスクリーニングで陽性となった場合、ウエスタンブロット法による抗体確認、核酸増幅検査等の他法による精査が必要となる。また日本の新規感染例の約10%が薬剤耐性HIVといわれ、耐性が疑われるとジェノタイプ検査へ進む。

感染症検査は結果が診断に直結し、陽性/陰性が今後の治療を左右する。適切な検体処理のもと、試薬の特性を理解し正確な判断に努めていきたい。

(文責：相坂由里子)

テーマ 尿検査の偽陽性、偽陰性

主催 一般検査研究班

実施日時：平成28年 4 月21日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティーセンター 第15集会室 点数：専門教科－20点

講 演 1：尿沈渣自動化のNext Stegeへ

講 師：北浦 芳之（シスメックス株式会社 北関東支店プロダクト営業課）

講 演 2：尿定性検査の落とし穴？！

講 師：槇島 碧（北里大学メディカルセンター LSIメディエンスブランチ）

講 演 3：尿検査の偽陽性、偽陰性 ～尿沈渣検査の見方・見分け方～

講 師：深田 茂則（埼玉医科大学病院）

協 賛：シスメックス株式会社

参加人数：会員65名 申請中 6 名 賛助会員 6 名

出席した研究班班員：小関紀之 深田茂則 室谷明子 槇島碧 川音勝江 山浦久 藤村和夫 柿沼智史

研修内容・感想など

初めに北浦氏から尿中有形成分分析装置UF-5000の紹介をしていただいた。旧機器UF-1000iからの精度向上と、体腔液モードの搭載について説明があった。体腔液の自動測定は血液部門での血球算定装置による測定を導入する施設が増えており、一般検査部門で測定が可能になる点は多くの施設で注目されている。また、撮像ユニットUD-10を導入することで尿沈渣検査の再検率や目視鏡検率を軽減できることが期待できるとの話であった。次に榎島技師に尿定性検査の手順、ポイントについて解説があり、強血尿、余剰尿、放置などによって判定値に影響が出るとのことであった。また、尿試験紙法ではその原理上、偽陰性、偽陽性が生じるため、各項目の測定原理を理解して偽陰性、偽陽性が疑われる場合の確認法、薬物などの治療情報の確認について、重要性を解説していただいた。参加者には測定原理について再確認する良い機会となった。最後に深田技師に講演をしていただいた。前半は尿沈渣検査の基本的検査手技の確認、各種成分の出現意義について解説していただいた。後半は尿定性検査と尿沈渣検査の結果の乖離について事例をあげの詳しい解説があり、患者情報、尿定性検査やその他の検査結果などを利用して、総合的に成分を鑑別する事が重要とのことであった。今回の研修では新人から中堅までを対象に尿定性、尿沈渣の基礎を踏まえて、尿検査の偽陽性、偽陰性についてとても参考になる内容であった。

(文責：小関紀之)



祝！ 瑞宝双光章受章

当会会員であられる2名の方が瑞宝双光章を受章されました。

元副会長 野本 幸雄 氏

元事務局長 前原 光江 氏

求人案内

- 医療法人 のうみ消化器内科小児科クリニック
採用条件：正職員 臨時職員 (パート)
連絡先：0480-42-7233
- 公益財団法人 埼玉県健康づくり事業団
採用条件：正職員
連絡先：0493-81-6024
総務部 総務課 渋谷
- 医療法人社団協友会 メディカルトピア草加病院
採用条件：正職員
連絡先：048-928-3117
総務人事課 山野
- 医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター (旧東大宮総合病院)
採用条件：正職員 臨時職員 (パート)
連絡先：048-665-6166
人事課 採用担当 大山
- 医療法人五麟会 まちだ訪問クリニック
採用条件：臨時職員 (パート)
連絡先：048-424-7301 和田孝司
- 独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院
採用条件：非常勤職員
連絡先：04-2948-1111 内線2213
管理課 給与係長 杉山亮平
- 医療法人 大宮シティクリニック
採用条件：正職員 臨時職員 (パート)
連絡先：048-645-1256 本部長 星野

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

埼玉県立大学大学院

平成29年度 入学生募集

大学院説明会を開催！

平成28年6月12日(日)

博士前期課程：午前10時～12時

北棟3階 中講義室 343

博士後期課程：午後1時～2時10分

北棟2階 小講義室 203

※オープンキャンパスと同時開催

博士前期課程

専修 看護学、リハビリテーション学、健康福祉科学

学位 修士

特徴 リカレント教育に軸足を置いた大学院(社会人が学びやすい教育環境を整備)

・平日夜間(18:00～21:00)、土曜開講

・長期履修制度

・サテライトキャンパス

※ 共通科目を中心に開講

北浦和駅徒歩3分

試験日 平成28年9月 4日(日)

出願期間 平成28年7月25日(月)

～ 7月29日(金)

健康福祉科学専修

大学院教員 研究指導に関わる教員の研究テーマ

酒井 伸枝 予防医学検査に関する研究

松下 誠 臨床化学検査データの評価に関する研究

新井 智子 検査データに影響する因子に関する解析・研究

安藤 克己 実験病理学・組織学・発生学に関する研究

廣渡 祐史 動脈硬化病態に関する検査マーカーの研究

松橋 美佳 血小板および顆粒球抗原・抗体に関する研究

村井 美代 細菌の遺伝子型別法の開発・検討

井原 寛子 白血病幹細胞のシグナル伝達に関する研究

久保田 亮 公衆衛生関連検査に関する研究

田嶋 明彦 循環器病態評価法に関する研究

nsakai@spu.ac.jp

matsushita-m@spu.ac.jp

arai-tomoko@spu.ac.jp

ando-k@spu.ac.jp

hirowatari-yuji@spu.ac.jp

matsuhashi-mika@spu.ac.jp

murai-miyo@spu.ac.jp

ihara-noriko@spu.ac.jp

kubota-ryo@spu.ac.jp

tajima-akihiko@spu.ac.jp

興味がある研究分野があれば、一度メールしてみてください！

大学院の受験資格は、短大・専門学校卒業、2年以上の実務経験があれば受験できます。

【お問い合わせ先】

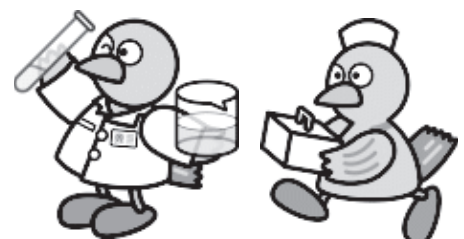
埼玉県立大学事務局 教務・入試担当

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

電話 048-973-4117

FAX 048-973-4808

E-mail nyushi@spu.ac.jp



平成28年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第2回 理事会議事録

日 時：平成28年5月12日（木）19時00分より

場 所：埼臨技事務所 さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 矢作 小山
奈良 長岡 伊藤 猪浦 松岡
小島 濱本 藤井 長澤 神嶋
山口 武関 鳥山 野瀬

(監事)遠藤

欠 席：(理事)岡田

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は19名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成28年4月14日～平成28年5月11日)

4月14日(木)平成28年度公益社団法人第1回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、神嶋、鳥山、武関、遠藤

4月14日(木)会計部会：松岡、小島

4月15日(金)第45回埼玉県医学検査学会第8回実行委員会：

猪浦、長岡、長澤、武関

4月16・17日(土・日)検体採取等に関する厚労省指定講習会：

神山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、藤井、山口

4月19日(火)総務部会：

島村、奈良、猪浦、長岡、伊藤

4月20日(水)検査室管理運営委員会：

津田、濱本、藤井

4月23日(土)会計部会、監査：

津田、神山、島村、松岡、小島、遠藤、細谷

4月30日・5月1日(土・日)検体採取等に関する厚労省指定講習会：

津田、矢作、小山、長澤、神嶋、武関、野瀬

5月6日(金)事業部会：津田、濱本、藤井、長澤、神嶋

5月11日(水)第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会準備委員会：

津田、濱本、神山、島村、岡田、矢作、小山、奈良、松岡、藤井、山口

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 野本幸雄氏と前原光江氏が、瑞宝双光章を受章した。

2) 東京・千葉・埼玉合同臨床化学検査研究班合同研修会の共催の回答を行った。

3) 日臨技より「(仮称)平成28年度熊本・大分地震災害対策本部設置準備室の立ち上げについて」の会告文書を受け、4月25日、埼臨技が係わる研修会・学術集会・その他の会合等で、今回の熊本・大分地震災害への募金活動を行うことを決定した。

4) 3)を受け、4月26日から28日の埼臨技3研修会にて、熊本・大分地震災害への募金活動への協力要請を津田会長が行い、3研修会で合計37,276円の募金を頂いた。

5) 日臨技より、ゴールデンウィーク期間の熊本地震への災害救援ボランティア募集の要請があり対応した。

6) 日臨技より、平成28年度助成金についての通達があった。

7) 4月16・17日及び4月30日・5月1日の2開催の検体採取等に関する厚労省指定講習会を、埼臨技担当で行った。

8) 川越市より川越市臨床検査精度管理専門委員の推薦依頼があり、下記3名の推薦を回答した。

神山 清志氏(浦和医師会メディカルセンター)

藤野 真治氏(自治医科大学附属さいたま医療センター)

荻野 毅史氏(埼玉県済生会川口総合病院)

9) 生物試料分析科学会関東支部学術集会の後援を承諾した。

2 総務部

1) 「埼臨技だより」第444号、5月15日発行予定

2) 4月19日、総務部会を開催した。

3 事業部

1) 4月20日、第1回検査室管理運営委員会を開催した。

2) 5月6日、事業部会を開催した。

4 学術部

1) 臨床化学検査及び血液検査研究班班員の欠員について

臨床化学研究班大地班員、血液検査研究班羽鳥班員が都合により退任することとなった。各々の補充は決まり次第承認事項に上程する。

5 精度保証部

1) 特になし。

6 会計部

1) 平成28年度正会員費109名分545,000円、入会金22名分22,000円、合計567,000円の入金があった。

2) 埼臨技だより第443号印刷代107,600円を石井印刷に支払った。

3) 会務に係る旅費交通費の請求について

7 精度管理委員会

1) 平成27年度埼玉県臨床検査精度管理調査の

会計報告を行った。

8 一都八県会長会議

1)特になし。

9 日臨技関甲信支部

1)特になし。

10 日臨技

- 1) 4月17日、緊急執行理事会を開催し、(仮称)平成28年度熊本・大分地震災害対策本部設置準備室を設置した。
- 2) ゴールデンウィーク期間の熊本地震への災害救援ボランティア募集の要請を行い、主にDVT検診を中心に活動を行った。

11 第45回埼玉県医学検査学会

1) 4月15日、第8回実行委員会を開催した。

12 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会準備委員会

1) 5月11日、第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会準備委員会を開催した。

III. 承認事項

1 事務局

1) 会員動向(平成28年度分)

平成28年 5 月 1 日現在

会員数 2,611名

(新入会員 73名[平成27年度会員数2,587名])

賛助会員 32社[平成27年度 79社]

承認された。

2) 平成28年度定時会員総会資格審査委員について

下記の5名が承認された。

理 事 猪浦 一人 氏

(埼玉県済生会栗橋病院)

東部地区 小関 紀之 氏

(獨協医科大学越谷病院)

南部地区 柿沼 智史 氏

(川口市立医療センター)

西部地区 小林 亜子 氏

(東松山医師会病院)

北部地区 持田 和紀 氏

(深谷赤十字病院)

3) 平成28年度定時会員総会時程表について承認された。

2 総務部

1) 会員名簿発行について

5月末の会員情報を元に作成する。なお、その後の変更(所属等)は行わない。

承認された。

2) 会技師養成学校との意見交換会開催について承認された。

3 事業部

1) 特になし。

4 学術部

1) 平成28・29年度精度管理委員会委員について承認された。

2) 研究班研修会報告の掲載方法について

各研究班の意見も参考とし、現在の「だより」掲載から「会誌」掲載とする等を検討することについて承認された。

5 精度保証部

1) 特になし。

6 会計部

1) 特になし。

7 精度管理委員会

1) 特になし。

IV. 議題

特になし。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

日本人はとてもお風呂が好きだそうです。私も時々友人達と大好きなお風呂へ行き、おしゃべりをしながらのんびりとした時間を過ごします。

湯船にゆっくり浸かり、疲れを癒すとき幸せを感じます。そして、お風呂上りに、たっぷりの乳液を手にとり、互いの背中から肩にかけて、指に少し力を入れてさすってあげることになっています。これが結構気持ち良くて好評です。

「手当て」とは、手のひらを患部にあてて体の不調を治すことが語源です。

埼臨技会員の皆さま、「手当て」・・・是非お試しく下さい。

(伊藤 記)

